

交流塾着物講座着付コース 事前に準備しておく物と事

<持ち物 着物用> (カッコ内)のもので代用可

1. 肌じゅばん(タンクトップ)
2. 裾よけ(ペチコート、ステテコ)
3. 足袋(2本指ソックスも可)
4. 長じゅばん(ワンピース)又は半じゅばん(ツーピース上下セット)
新規購入希望者は、必ず開講前にお問合せを。適切なものをご紹介します。
5. 衿芯
6. 伊達締め2本
7. 紐2本
8. 小さめの着物クリップ1つ (当日販売あり)
9. 着物

<名古屋帯の場合>

1. 帯板(ベルト付き、無し、どちらでも可)
2. 帯枕
3. 帯揚げ
4. 帯締め
5. 着物クリップ2つ(洗濯ばさみ不可) (当日販売あり 大きさにより300円~700円)
6. 仮紐1本
7. ヘアゴム10cm
8. 帯(長さ360cm以上の全通柄が練習しやすいです)



<袋帯は:3回目の最終回で希望者に実施>
名古屋帯の準備に加えて、仮紐をもう1本
ご用意ください。

じゅばんは襟の形を決める大切なツールです。身頃が綿で袖や裾がポリエステル製の半襦袢(ツーピースタイプ)が、手入れも簡単でおすすめです。若いころ作った長じゅばんはもう身幅が合わない可能性大です。あきらめましょう。

着物、じゅばん、帯の素材 ポリエステルは安価ですがすべりやすく、初心者には不向きです。

ブラジャー

バストの大きい方は和装ブラを着けるかさらしで胸を巻きましょう。それほどでもない方はスポーツブラかノーブラで。(カップ付きブラは厳禁です)さらしは肌触りがいいですが、和装ブラが早くて簡単です。

帯は長さ360cm以上の名古屋帯

お太鼓の所だけに柄が来るポイント柄の帯ではなく、柄が長めに入っている帯で軽い帯が練習しやすいです。短かすぎる昔の帯には要注意!

礼装用の袋帯は、リクエストベースで練習します。3回目の最終回のお持ちください。

じゅばんに半襟をつけ襟芯を用意する

特に絹の長じゅばんは、半襟だけ外して洗い、数回繰り返して着るようになります。市販の長じゅばん、半じゅばん(上下セット)にはたいてい半襟がミシンできれいに縫い付けられています。この上からもう一枚、化繊か綿の半襟をかけておくと、手入れが楽になり便利です。半襟をかけた内側には、襟芯を通してから着用します。襟芯を忘れずに用意しましょう。



Youtubeに半衿の付け方がたくさん出ています。参考にしてください。